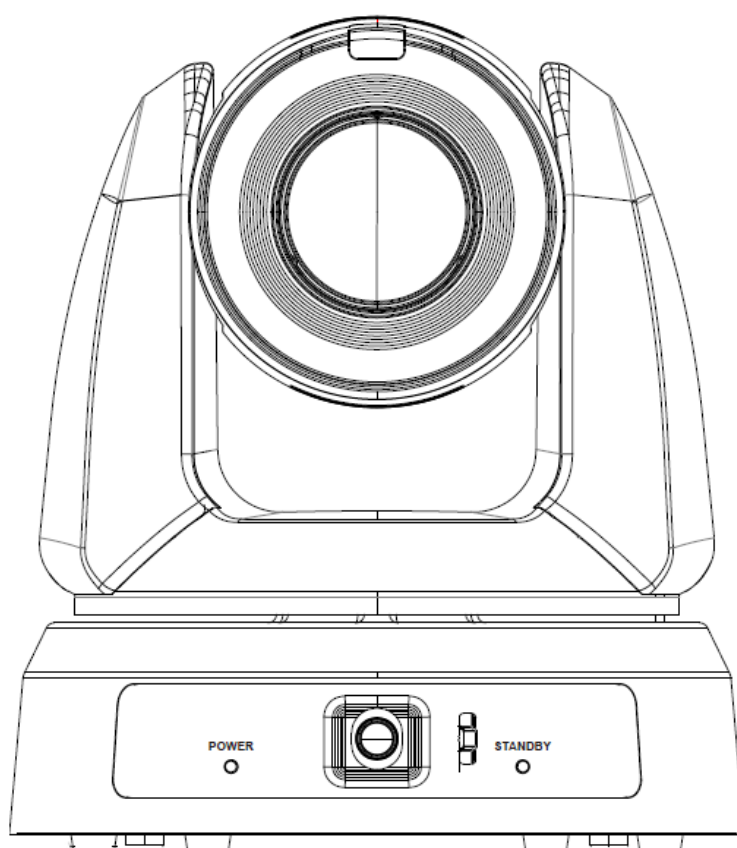


VC-TR61

オートトラッキングカメラ

(PTZ Video Camera)

ユーザーマニュアル-日本語



クイックスタートガイド、多言語ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバーなどの最新版をダウンロードするには、Lumens ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.MyLumens.com/support>

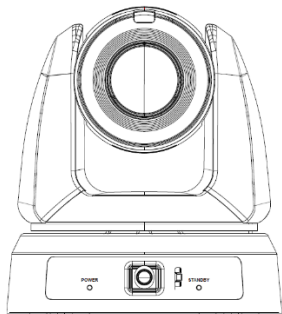
目次

Chapter.1	同梱品.....	2
Chapter.2	製品外観.....	3
2.1	入出力インターフェース.....	3
2.2	LED インジケーター	3
2.3	タリーランプ.....	3
Chapter.3	設置について.....	4
3.1	設置場所.....	4
3.2	設置前の準備.....	4
3.3	取り扱い上の注意.....	4
3.4	パノラマレンズのチルト調整.....	5
3.5	設置方法.....	5
3.5.1	机への設置.....	5
3.5.2	天井への設置.....	5
3.6	外部機器との接続.....	6
3.6.1	機器の接続.....	6
3.6.2	RS-232.....	6
Chapter.4	リモコンと OSD メニュー.....	7
4.1	リモコン.....	7
4.2	OSD メニュー	8
Chapter.5	ネットワーク接続.....	12
5.1	ネットワーク接続方法.....	12
5.1.1	RTSP プレーヤーを使用した映像の確認	12
5.2	Web GUI メニュー	13
5.2.1	ログイン画面.....	13
5.2.2	ライブビュー画面.....	14
5.2.3	カメラ設定画面.....	15
5.2.4	トラッキング画面.....	20
5.2.5	トラッキングモード設定画面.....	22
5.2.6	オーディオ画面.....	25
5.2.7	ストリーム画面.....	26
5.2.8	NDI ストリーム画面 (VC-TR61N のみ).....	28
5.2.9	システム画面.....	29
5.2.10	メンテナンス画面.....	35
5.2.11	About 画面	35
Chapter.6	トラブルシューティング.....	36
Chapter.7	安全上のご注意.....	37
Chapter.8	Copyright Information.....	38

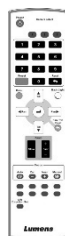
Chapter.1 同梱品

本製品は以下の製品が同梱されています。

VC-TR61 カメラ



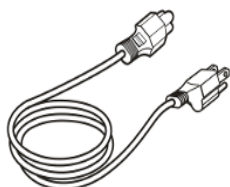
リモコン



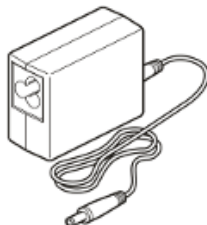
USB 3.0 ケーブル -
2m (Type A to Type B)



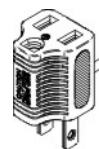
電源ケーブル



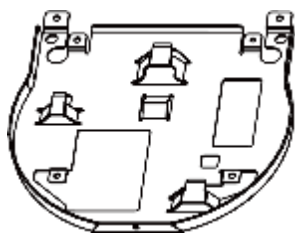
電源アダプター



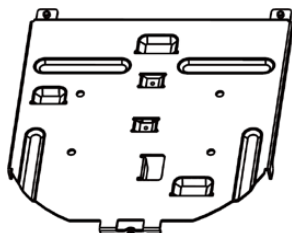
3-PIN to 2-PIN
コネクター



金属プレート A



金属プレート B



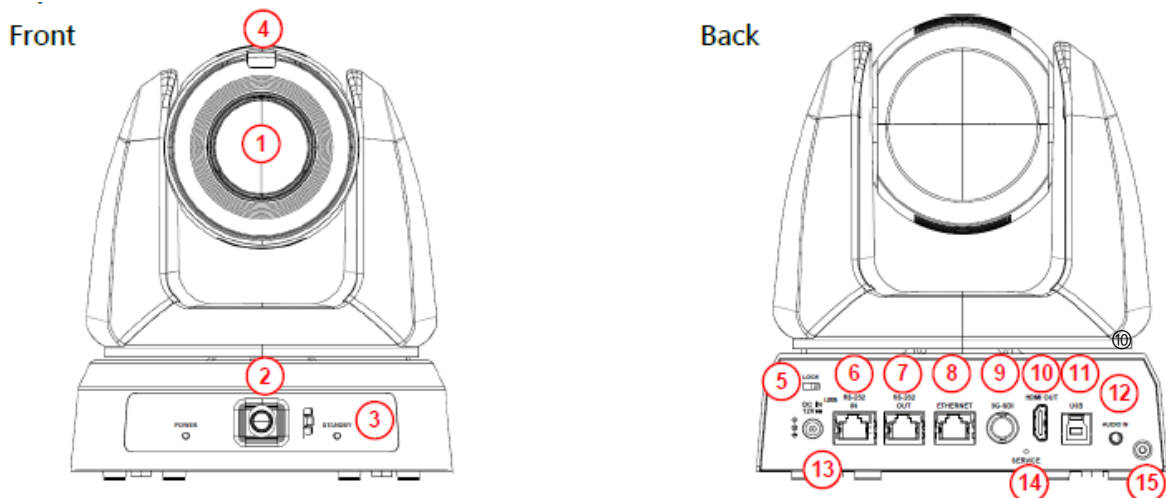
M3 ネジ
シルバー x8/黒 x2



Chapter.2 製品外観

2.1 入出力インターフェース

本章では、本製品の入出力インターフェースについて説明します。



NO.	項目	機能概要
1	メインカメラレンズ	PTZ カメラのメインレンズです。
2	パノラマカメラレンズ	パノラマカメラ用のレンズです。カメラを 2m 以上の高さに設置する場合は、レンズのチルト（傾き）調整を推奨します。詳細は 3.4 パノラマレンズのチルト調整 を参照してください。
3	LED インジケーター	カメラの動作状態を表示します。（詳細は 2.2 項を参照）
4	タリーランプ	カメラのタリー状態を表示します。
5	セキュリティスロット	盗難防止用のセキュリティロックスロットです。
6	RS-232 IN	RS-232 入力ポートです。最大 7 台のカメラをカスケード接続できます。ピン配列は 3.6.2 RS232 を参照してください。
7	RS-232 OUT	RS-232 出力ポートです。カスケード接続で次のカメラへ信号を送る際に使用します。
8	イーサネット	PoE+（IEEE802.3at）に対応したネットワークポートです。
9	3G-SDI	3G-SDI 出力端子です。
10	HDMI OUT	HDMI 映像出力端子です。
11	USB 3.0	PC の USB ポートと接続し、USB ビデオ（UVC）を出力します。
12	オーディオ入力	3.5mm のアナログ音声入力端子です（ライン入力）。
13	DC IN 12V	付属の AC アダプターを接続する電源入力ポートです。
14	サービスボタン	通常、ユーザーが使用することはありません。
15	セーフティロック	ワイヤーなどを通して落下を防止するためのネジ穴です。

2.2 LED インジケーター

カメラ本体の LED インジケーターは、動作状態に応じて以下のように点灯・点滅します。

Status	Power LED	Standby LED
電源未接続	消灯	消灯
起動処理中	緑点灯	オレンジ点灯
電源オン（動作中）	緑点灯	消灯
スタンバイ	消灯	オレンジ点灯
オートトラッキング／オートフレーミングモード	緑点滅	緑点滅
プライバシーモード	オレンジ点灯	消灯

2.3 タリーランプ

タリーランプ機能は、RS-232 コマンドを使用して制御できます。コマンドによって、赤、緑、オレンジの各色に状態を変更することが可能です。詳細なコマンドについては、Lumens Web サイトの[ダウンロードページ](#)より VC-TR61 RS-232 コマンドセットを参照してください。

Chapter.3 設置について

3.1 設置場所

VC-TR61 のオートトラッキング機能を最大限に活用するため、設置場所については以下をご参照ください。

- ✓ 有効距離：2～18 m
- ✓ 設置上の注意：
 - トラッキング対象者の背景に、ポスターやスクリーンなど、他の人物の映像が映り込む環境は避けてください。トラッキング性能に影響する場合があります。

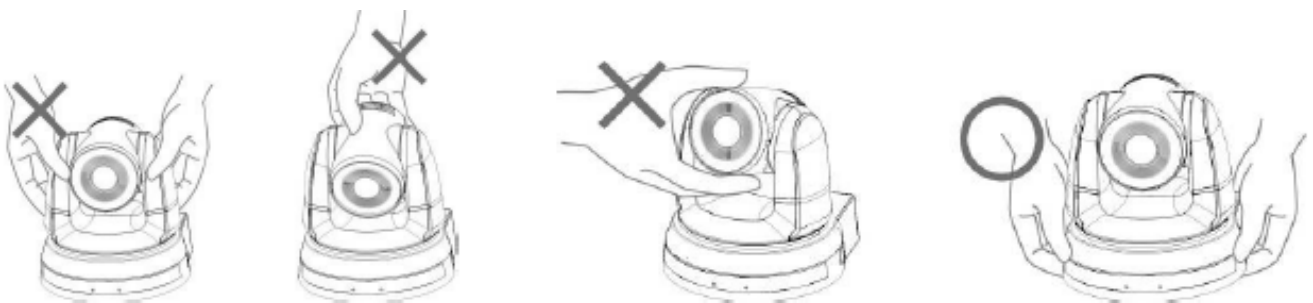
3.2 設置前の準備

カメラの設置と接続には専門的な技術が必要です。ご自身で設置する場合は、手順に従い、安定した状態で確実に設置し、事故が発生しないよう安全に配慮してください。

- ✓ 設置環境の安全を確保してください。事故を防ぐため、不安定な場所や落下の危険がある場所には設置しないでください。
- ✓ 箱の中の付属品を確認してください。付属品がすべて揃っているか確認し、不足がある場合は販売店に連絡してください。付属品は紛失しないよう、大切に保管してください。
- ✓ カメラの設置場所を事前に決めてください。撮影対象の位置を確認し、視野角に収まるよう設置場所を決めてください。またカメラが光源から適切な距離に設置されているか確認してください。

3.3 取り扱い上の注意

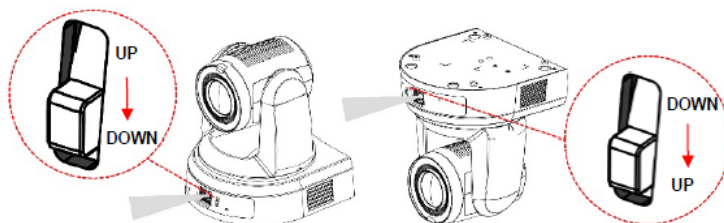
- ✓ 持ち運ぶ際は、カメラヘッド（レンズ部分）を持たず、本体の台座部分を支えてください。
- ✓ カメラヘッドを手で無理に回転させないでください。故障の原因となります。
- ✓ 撮影対象から 1.5m 以上離して設置することを推奨します。撮影したい画角になるよう位置を調整してください。
- ✓ カメラ本体（金属プレート含む）の重量は約 2.7kg です。定期的に設置箇所の強度や安定性を確認してください。



3.4 パノラマレンズのチルト調整

パノラマレンズは、設置する高さに応じて角度を3段階（上／標準／下）に調整できます。

- ✓ カメラを高さ 2m 以上に設置する場合は、レンズの角度調整を推奨します。
- ✓ 通常設置（正立）の場合：レンズを [Down] の位置に調整します。
- ✓ 天吊り設置（倒立）の場合：レンズを [Up] の位置に調整します。
- ✓ 角度調整後、Web 設定画面の [Tracking] > [Lens Tilt Direction] から、設定した値と同じものを選択してください。



3.5 設置方法

3.5.1 机への設置

平らで安定した机の上にカメラを設置してください。

3.5.2 天井への設置

- ✓ 準備するもの

製品付属のアクセサリ（金属プレート A、B、M3 ネジ 銀 x8、黒 x2）

天井吊り下げ用ハンガーを固定するためのネジ 4 本

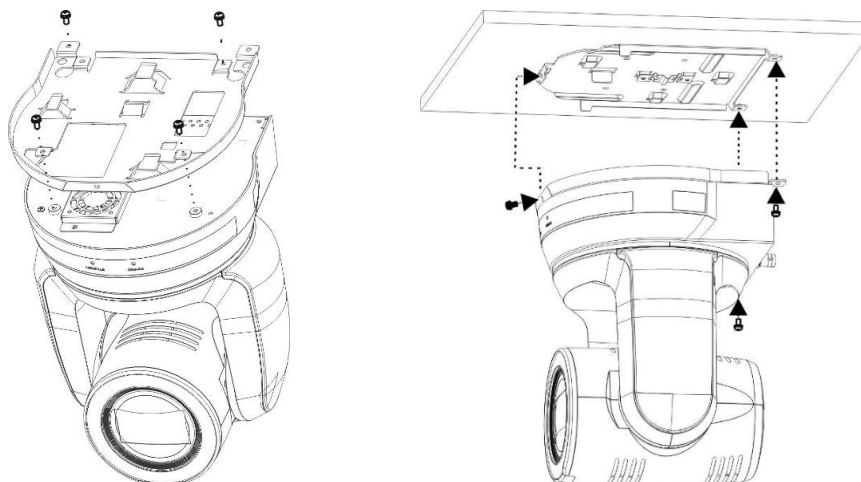
ドリル、ドライバー、脚立など

- ✓ 設置手順

1. 4 本の M3 シルバーのネジを使い、金属プレート A をカメラの底面に固定します。
2. 天井吊り下げ用ハンガーに金属プレート B を固定します。
3. 金属プレート A と B を組み合わせます。
4. 金属プレート A を天井まで押し上げ、右にスライドさせて金属プレート B に引っ掛けます。
5. 2 本の M3 シルバーのネジと 1 本の M3 黒ネジでしっかりと固定します。

※注意

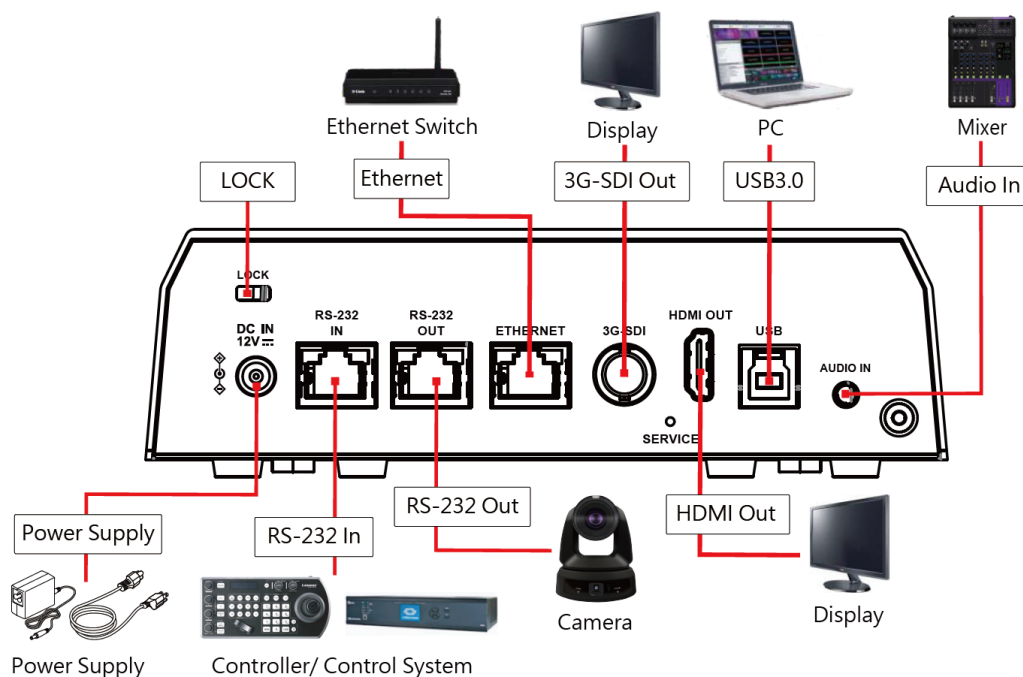
- ✓ 天井吊り下げ用ハンガーは、安全規格（UL 認証など）を取得したものを使用してください。
- ✓ ケーブルを通すためのスペースを確保してください。
- ✓ 天吊り設置（倒立）の場合は、Web 設定画面で映像の反転（ミラー／フリップ）を有効にしてください。



3.6 外部機器との接続

3.6.1 機器の接続

下図を参考に、カメラと各種外部機器を接続します。

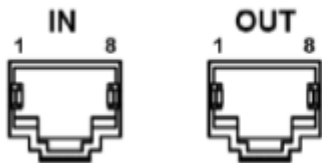


イーサネットポートはPoE+（IEEE802.3at）に対応しているため、対応するネットワークスイッチに接続することで、LAN ケーブル 1 本で映像伝送、カメラ制御、電源供給が可能です。

3.6.2 RS-232

RS-232/RS-422 ポートを使用して、PC やカメラコントローラーでカメラの制御が可能です。コネクターは RJ45 を採用し、制御プロトコルは VISCA に対応しています。

詳しくは、Lumens Web サイトの[ダウンロードページ](#)より VC-TR61 RS-232 コマンドセットを参照してください。

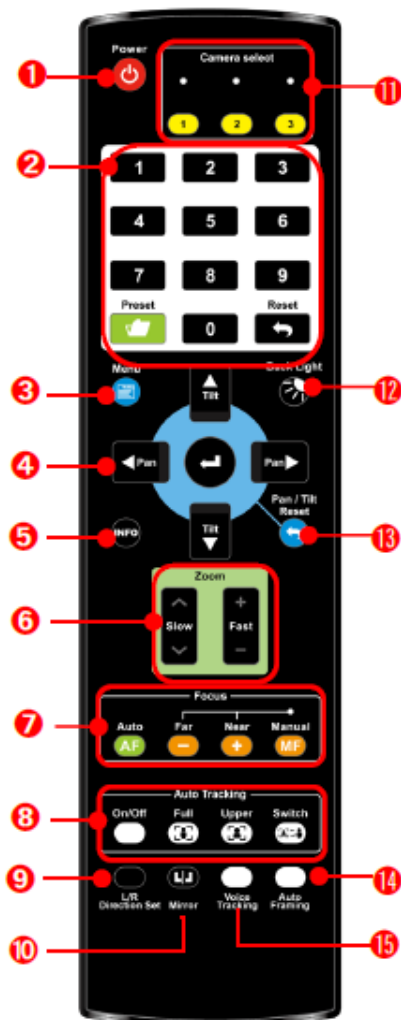


Pin No.	IN	OUT
1	NA	NA
2	NA	NA
3	GND	GND
4	TX	RX
5	RX	TX
6	DTR	DSR
7	NA	NA
8	NA	NA

Chapter.4 リモコンと OSD メニュー

4.1 リモコン

製品付属リモコンの各ボタンについて機能を解説します。



No	ボタン名	機能概要
1	Power	カメラのスタンバイモードをオン／オフします。
2	Preset	✓ 0～9: 数字ボタンを押し、登録したプリセットポジションを呼び出します。 ✓ Preset: 現在のカメラ位置をプリセット番号 (0～9) に登録します。 ✓ Reset: 登録したプリセット番号 (0～9) を選択して削除します。
3	Menu	OSD メニューを表示します。OSD メニューについては 4.2 OSD メニュー を参照してください。
4	Pan/Tilt/Enter	✓ Pan/Tilt: カメラヘッドを左右・上下に動かします。 ✓ Enter: カメラを正面の位置に戻します／設定を決定します。
5	Info	カメラの現在のステータス情報を表示します。
6	Zoom	✓ Fast: 高速でズームイン／ズームアウトします。 ✓ Slow: 低速でズームイン／ズームアウトします。
7	Focus	✓ Auto: オートフォーカスを有効にします。 ✓ Manual: マニュアルフォーカスに切り替えます。 ✓ Far/Near: マニュアルフォーカスモード時にピントを調整します。
8	Auto Tracking	✓ On/Off: 自動追尾機能を有効／無効にします。 ✓ Full: 追尾対象の全身を映す画角に調整します。 ✓ Upper: 追尾対象の上半身を映す画角に調整します。 ✓ Switch: 追尾対象を別の人に切り替えます。
9	L/R Direction Set	リモコン操作時のパン（左右）の方向を通常／反転に切り替えます。
10	Mirror	映像の表示を回転・反転させます。（オフ／左右反転／上下反転／180度回転）
11	Camera select	操作対象のカメラ ID (1～3) を選択します。
12	Back Light	逆光補正機能のオン／オフを切り替えます。
13	Pan/Tilt/Reset	現在のパン／チルトの値をリセットします。
14	Auto Framing	オートフレーミング機能を有効／無効にします。（※注1 参照）
15	Voice Tracking	VC-TR61 では、このボタンは対応していません。（※注1 参照）

※注1： リモコンのバージョンによって、14 番と 15 番のボタンの印字が異なる場合があります。

New version
Previous version

4.2 OSD メニュー

リモコンの[MENU]ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。OSD メニューでは、より詳細な設定を行うことができます。（表内の太字はデフォルト設定です）

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
Exposure	Mode	Full Auto / Shutter Pri/ Iris Pri/ Manual/ White Board	露出モードを設定します。 ✓ Full Auto: カメラが全自動で露出を調整します。 ✓ Shutter Pri (シャッター優先): シャッター速度を優先的に設定し、その他の設定（絞りやゲインなど）はカメラが自動で調整します。 ✓ Iris Pri (絞り優先): 絞り（アパーチャ）を優先的に設定し、他の設定を自動で調整します。 ✓ Manual: すべての設定（シャッター速度、絞り、ゲインなど）を手動で調整します。 ✓ White Board: ホワイトボードでの撮影に最適な設定を自動的に調整します。
	Exposure Comp.	On/ Off	露出補正のオン/オフを切り替えます。画像が明るすぎたり暗すぎたりするのを調整できます。
	Exposure Comp. Level	-6~ C ~4	露出補正レベルを調整します。露出補正がオンの時に設定可能です。 Exposure Comp. が On の時に設定できます。
	Gain Limit	8~ 30dB	ゲインの最大値を制限します。ゲインはカメラが光量の不足を補うために増幅する信号の強さです。
	WDR	Off / 1/ 2/ 3	WDR(ワイドダイナミックレンジ)を設定します。明るい部分と暗い部分のディテールを両方とも鮮明に表示できるよう調整します。
	Anti-Flicker	50Hz/60Hz/ Off	蛍光灯などの光源による画面のちらつき（フリッカー）を、地域の電源周波数に合わせて防止します。 Full Auto、White Board、Iris Pri モード時に設定ができます。
	Shutter Speed	1/10000~1/30	シャッター速度を調整し、画像の明るさや動きのブレを制御します。 Shutter Pri または Manual モード時に設定ができます。
	Iris Level	F1.8~F11/ Close	レンズの絞りを調整します。画像の被写界深度（ピントの合う範囲）や光量が変わります。 Iris Pri または Manual モード時に設定ができます。
	Gain Level	0~30dB	ゲインレベルを調整します。 Manual モード時に設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
White Balance	Mode	Auto/ Indoor/ Outdoor/ One Push WB/ ATW/ Manual/ Sodium Lamp	様々な光源に合わせて、映像が自然な白になるように色温度を調整します。 ✓ Auto: カメラが周囲の光を判断し、最適なホワイトバランスを自動で設定します。(4000K ~ 7000K) ✓ Indoor: 屋内の照明に合わせた設定です。(3200K) ✓ Outdoor: 屋外の太陽光に合わせた設定です。(5800K) ✓ One Push WB: 白い紙などを基準に、手動でホワイトバランスを取得するモードです。(1700K ~ 10000K) ✓ ATW (Auto Tracing White Balance): 変化する光源に対し、自動で追従してホワイトバランスを調整し続けるモードです。(1700K ~ 10000K) ✓ Manual: 赤 (R) と青 (B) のゲインを手動で細かく調整するモードです。 ✓ Sodium Lamp: ナトリウムランプ (道路やトンネルの照明など) に合わせた設定です。(2800K)
	One Push Trigger	(Enter キー)	One Push WB モード時に、白い紙などを写して Enter キーを押すことで、その白を基準にホワイトバランスを調整します。
	Manual Red	0~C~128	マニュアルモード時に赤色のレベルを調整します。
	Manual Blue	0~C~128	マニュアルモード時に青色のレベルを調整します。
Tracking	Type	Tracking/ Framing	自動追尾の方式を選択します。 ✓ Tracking: 特定の人物を自動で追尾します。 ✓ Framing: 画角内にいる人物が全員収まるように自動でフレーミングします。
Picture	3D NR	Off/ Low/ Typ/ Max	3D ノイズリダクションを設定します。3D ノイズリダクションでは、連続するフレームを比較し、変化の少ない部分を基準にしてノイズを除去します。
	Image Mode	Default/ Custom	画質モードを選択します。 ✓ Default: デフォルト設定で画像を出力します。 ✓ Custom: Brightness/ Hue/ Saturation/ Gamma/ Sharpness の調整が可能になります。
	Gamma	0~C~3	シャドウやハイライトのバランスを調整します。 Image Mode が Custom 時に設定ができます。
	Brightness	0~C~25	画面全体の明るさを調整します。 Image Mode が Custom 時に設定ができます。
	Contrast	0~C~25	明暗の差 (コントラスト) を調整します。 Image Mode が Custom 時に設定ができます。
	Saturation	0~C~25	色の鮮やかさ (彩度) を調整します。 Image Mode が Custom 時に設定ができます。
	Sharpness	0~C~11	シャープネスを調整します。
Pan Tilt Zoom	Pan/Tilt Limit	On/Off	パン・チルトの可動範囲制限のオン/オフを切り替えます。
	Pan Right Limit	0~170	右方向の最大角度を指定します。 Pan/tilt Limit が On の時に設定ができます。
	Pan Left Limit	-170~0	左方向の最大角度を指定します。 Pan/tilt Limit が On の時に設定ができます。
	Tilt UP Limit	0~90	上方向の最大角度を指定します。 Pan/tilt Limit が On の時に設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
	Tilt Down Limit	-30~0	下方向の最大角度を指定します。Pan/tilt Limit が On の時に設定ができます。
	Pan Flip	On/Off	オンにすると、パン操作（左右移動）の方向が反転します。
	Tilt Flip	On/Off	オンにすると、チルト操作（上下移動）の方向が反転します。
	Preset Speed	5/ 25/ 50/ 80/ 120 deg/sec	プリセット位置へ移動するときの回転速度（°/秒）を設定します。
	PTZ Speed Comp	On/Off	ズーム倍率に応じてパン・チルト速度を自動調整します。オンにすると、ズームイン時に動きが遅くなり、精密な操作が可能です。
	D-Zoom Mode	On/Off	デジタルズームを有効にします。※4K 解像度やストリーミング出力時は利用できません。
	D-Zoom Limit	2x~8x	デジタルズームの最大倍率を制限します。D-Zoom Mode が On の時に設定ができます。
D-Effect	Mirror	Off/ Mirror/ Flip/ Mirror+Flip	画像の反転設定を行います。 ✓ Off: 画像を反転しません ✓ Mirror (左右反転): 画像を左右反転します。 ✓ Flip (上下反転): 画像を上下反転します。 ✓ Mirror+Flip (左右+上下反転): 画像を180度回転させます。
Auto Focus	AF Sensitivity	Low/ Middle/ High	オートフォーカスの反応速度を設定します。
	AF Frame	Center/ Full Frame	オートフォーカスがピントを合わせる測距エリアを設定します。 ✓ Center: 画面中央を基準にピントを合わせます。 ✓ Full Frame: 画面全体を基準にピントを合わせます。
Ethernet	DHCP	On/Off	DHCP（動的 IP アドレス設定）のオン/オフを切り替えます。
	IP Address	任意の IP アドレスを指定	DHCP がオフに設定されている場合に設定可能です。
	Subnet mask	任意のサブネットマスクを指定	
	Gateway	任意のデフォルトゲートウェイを指定	
Audio	Audio Enable	On/Off	音声出力のオン/オフを切り替えます。切り替え時、カメラは再起動を行います。
	Audio In	Line In	オーディオ入力タイプのタイプを表示します。現在変更はできません。
	Audio Volume	0~C~10	音量を調整します。Audio Enable が On の時設定ができます。
	Audio Delay	On/Off	音声ディレイのオン/オフを切り替えます。Audio Enable が On の時設定ができます。
	Audio Delay Time(ms)	-10~500ms	ディレイ時間を設定します。映像と音声にずれが発生した場合に補正可能です。Audio Delay が On の時設定ができます。
	Encode Sample Rate	48 KHz(AAC)	音声のエンコード方式とサンプリングレートを表示します。現在変更はできません。
System	Prompt	On/Off	ディスプレイ上のプロンプト情報のオン/オフを切り替えます。プロンプト情報は、プリセット呼び出し情報などが含まれます。
	IR Receive	On/Off	リモコン操作のオン/オフを切り替えます。カメラを再起動すると、オンになります。
	IR Select	1/ 2/ 3	カメラの IR チャンネル設定を変更します。リモコン操作を行うには、カメラとリモコンの IR チャンネルを一致させる必要があります。
	Tally Lamp	Enable/ Disable	メインレンズ上部のタリールンプのオン/オフを切り替えます。

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
	Tally CMMD Mode	Normal/Link	タリーランプがオフの時のコマンド処理方法を指定します。 ✓ Normal: タリーランプのオン/オフと点灯色は個別に制御します。タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信しても点灯しないため、先にタリーランプをオンにするコマンドを送信する必要があります。 ✓ Link: タリーランプのオン/オフと点灯色は連動して制御します。タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信すると、自動的にタリーランプがオンになり、指定された色で点灯します。
	Tracking Led Status	On/Off	有効にすると、カメラトラッキング中、全面の Power LED と Standby LED が緑色にゆっくりと点滅します。
	Language	English/ 中文	表示言語を英語/中国語から選択します。
	Initial Position	Last MEM/ 1st Preset	電源投入時のレンズ位置を設定します。 ✓ Last MEM: 前回電源オフ時のレンズ位置を保持します ✓ 1st Preset: 電源オン時にプリセット 0 (1st Preset) の位置に戻ります
	Motionless Preset	On/Off	モーションレスプリセットのオン/オフを切り替えます。モーションレスプリセットは、プリセット位置へ移動中に画面をフリーズさせます。
	Privacy Mode	On/Off	プライバシーモードのオン/オフを切り替えます。プライバシーモードは、カメラをオフにすると、自動でレンズを下向きにします。
	Protocol	VISCA	制御プロトコルを選択します。 現在、VISCA プロトコルのみサポートします。
	Baud Rate	9600/38400	ボーレートを選択します。
	VISCA Address	0~7	カメラ ID アドレスを設定します。複数台のカメラを VISCA 制御する場合、それぞれ異なる ID を割り当てる必要があります。
	Output Mode	2160P 59.94/50/29.97/25 1080p 59.94/50/29.97/25 720p 59.94/50 1080i 59.94/50	出力解像度を選択します。 ※1080i は HDMI 出力のみ対応です。
	Factory Reset	Yes/ No	Yes にし、エンターボタンを押すと、工場出荷時の設定に戻します。カメラは再起動をします。
Status	-	-	現在の設定状態を表示します。

Chapter.5 ネットワーク接続

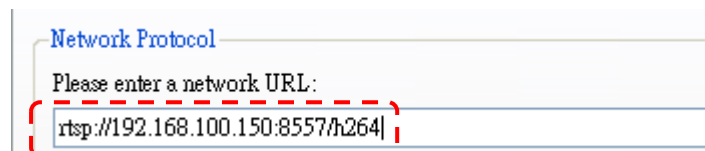
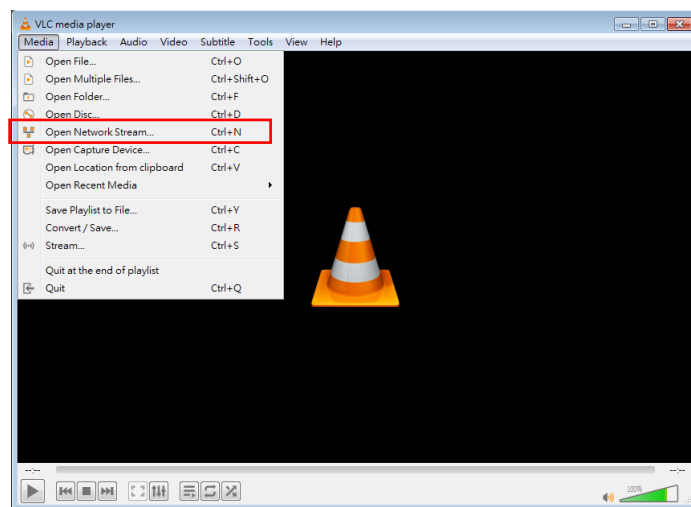
5.1 ネットワーク接続方法

LAN ケーブルでカメラを接続し、Web ブラウザ経由での設定や映像の確認、RTSP 対応プレーヤーでの視聴が可能です。Web ブラウザ経由での設定や映像の確認方法は、[5.2 Web GUI メニュー](#)を参照してください。

5.1.1 RTSP プレーヤーを使用した映像の確認

ネットワーク経由で映像を視聴するには、VLC メディアプレーヤーなどの RTSP 対応プレーヤーを使用できます。

- ✓ RTSP ストリームの接続 URL 例：
 - メインストリーム：rtsp://192.168.100.100:8557/h264
 - サブストリーム：rtsp://192.168.100.100:8556/h264
 - パノラマ映像：rtsp://192.168.100.100:8553/h264
- ✓ 認証が有効な場合の RTSP 接続 URL 例：
 - rtsp://<ユーザー名>:<パスワード>@192.168.100.100:8557/h264
- ✓ VLC メディアプレーヤーでの視聴方法例：
 1. VLC メディアプレーヤーを開きます
 2. [メディア] > [ネットワークストリームを開く]を選択します。
 3. URL を入力します（例：rtsp://192.168.100.100:8557/h264）
 4. [再生] をクリックし、映像を視聴します。



5.2 Web GUI メニュー

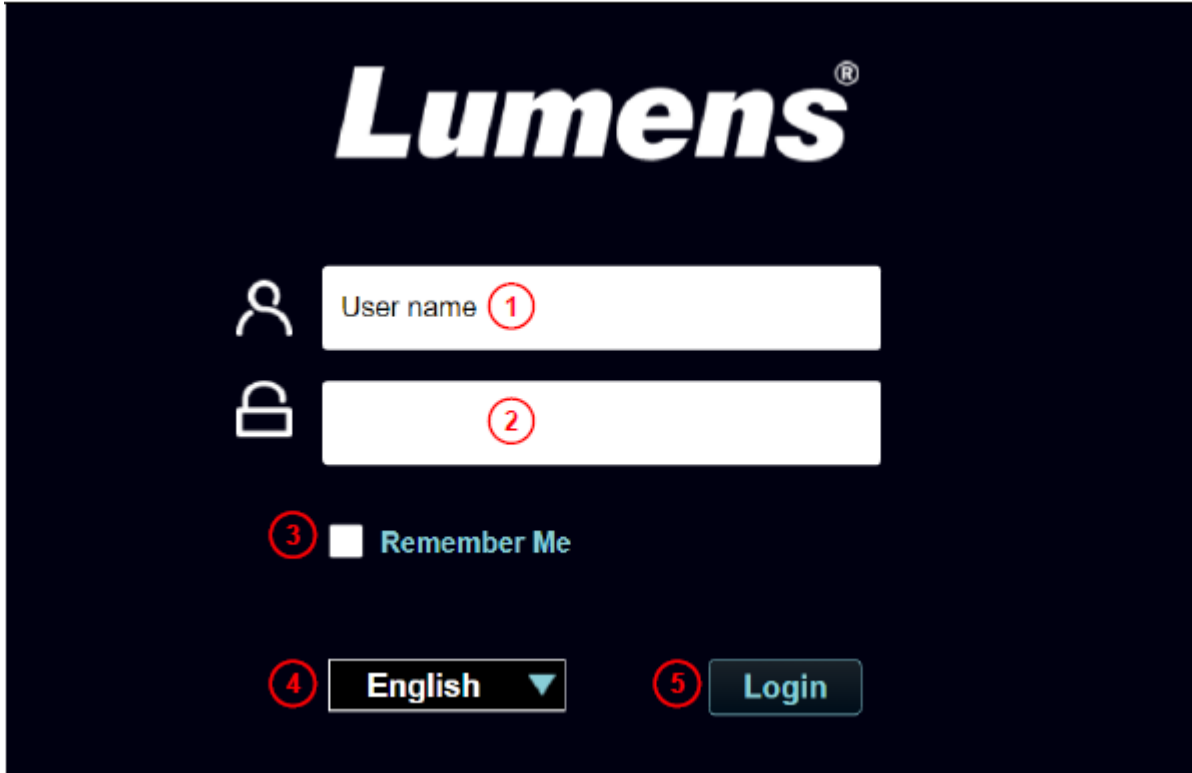
本章では Web ブラウザ経由で設定や映像の確認方法を解説します。

- ✓ Web ブラウザを開き、アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。

初期 IP アドレス: <http://192.168.100.100>

- ✓ 管理者アカウントでログインします。
 - ユーザー名: admin
 - パスワード: 9999 (初期設定)

5.2.1 ログイン画面

The image shows the Lumens login interface. At the top is the 'Lumens' logo. Below it are two input fields: the first is labeled 'User name' with a red circle '1' next to it, and the second is for the password with a red circle '2' next to it. Below the password field is a checkbox labeled 'Remember Me' with a red circle '3' next to it. At the bottom, there is a language dropdown menu currently set to 'English' with a red circle '4' next to it, and a 'Login' button with a red circle '5' next to it.

No	項目	機能概要
1	User name	ログインアカウントを入力します(default: admin)。
2	Password	パスワードを入力します(default: 9999)。
3	Remember Me	ログインアカウントとパスワードをブラウザに保存します。
4	Language	表示を英語/繁体字中国語/簡体字中国語から選択できます。
5	Login	ホームページの管理画面にログインします。

5.2.2 ライブビュー画面

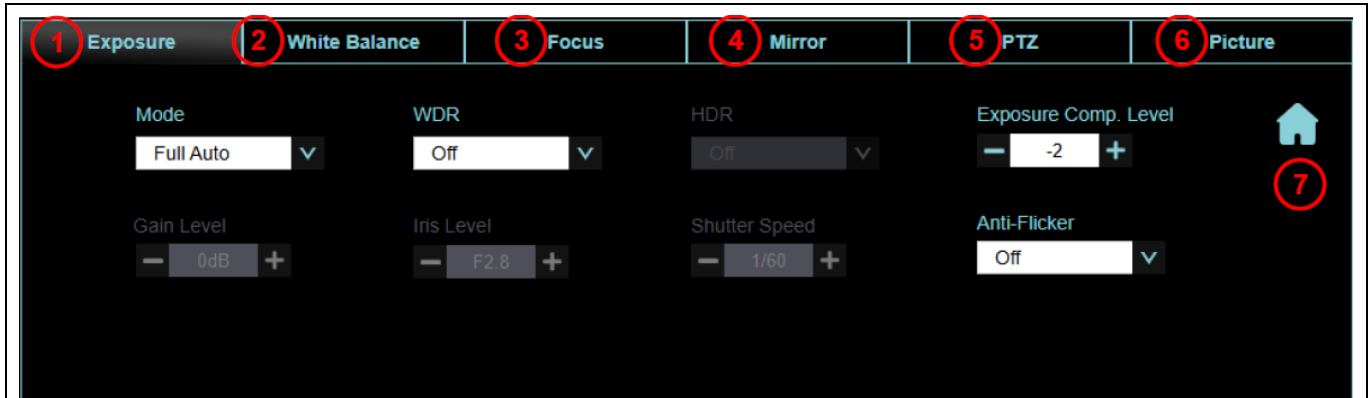
サイドメニューから Live View を選択すると、Live View 画面へ移行します。この画面では、プレビュー画面を確認しながらレンズ位置を調整し、プリセットの保存などを行うことができます。



No	項目	機能概要
1	Camera ID/ location	設定されているカメラの ID とロケーション名を表示します。詳細は 5.2.9 システム画面 を参照してください。
2	Preview screen	カメラの現在のライブ映像を表示します。
3	Preset setting	プリセットの保存および呼び出しを行います。 ✓ 数字ボタン: 保存または呼び出すプリセット番号(0~999)を指定します。 ✓ Store ボタン: 現在のレンズ位置を、指定したプリセット番号に保存します。 ✓ 呼び出し (丸矢印) ボタン: 指定したプリセット番号を呼び出します。
4	Pan/Tilt setting	レンズを任意の方向へ移動させます。 ✓ 方向ボタン: レンズを上下左右に動かします。 ✓ ホームボタン: ホームポジションへ移動します。
5	Zoom	ズームイン、ズームアウトを行います。
6	AF/MF	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えます。マニュアルフォーカス時は Focus+/- ボタンが有効になり、手動でフォーカスを調整できます。
7	Pan/Tilt Speed	パン/チルトの移動速度を調整します。
8	Zoom speed	ズーム速度を調整します。
9	Tracking	オートトラッキング (Auto Tracking) またはオートフレーミング (Auto Framing) の有効/無効を切り替えます。
11	Camera Setting	ギアアイコンをクリックすると、カメラ設定画面に移行します。詳細は 5.2.3 カメラ設定画面 を参照してください。

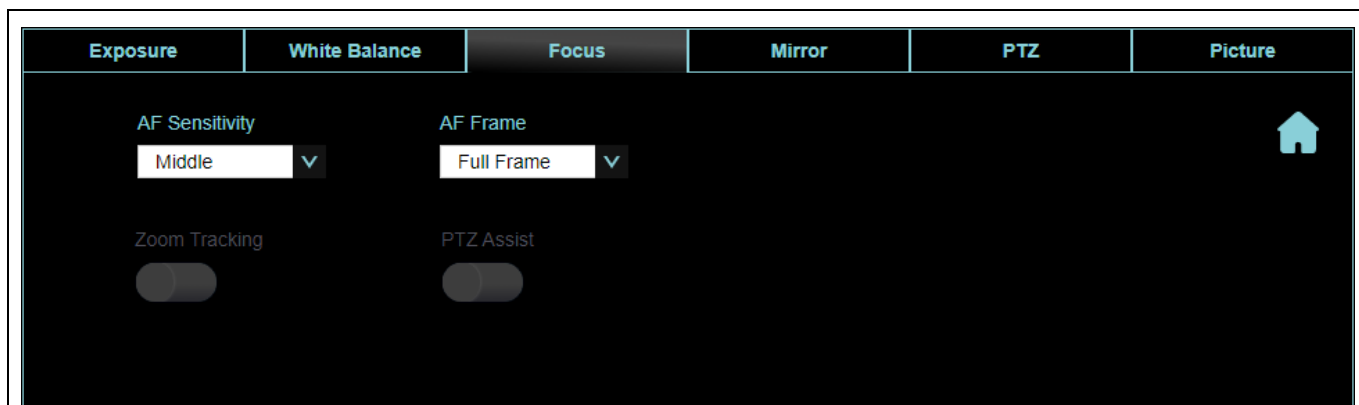
5.2.3 カメラ設定画面

Live View 画面のギアアイコンをクリックすると、カメラ設定画面に移行します。この画面では、カメラ画質に関する設定を行うことができます。各メニューの右側に配置されている「⑦ホームボタン」をクリックすると、もとの Live View 画面へ戻ることができます。

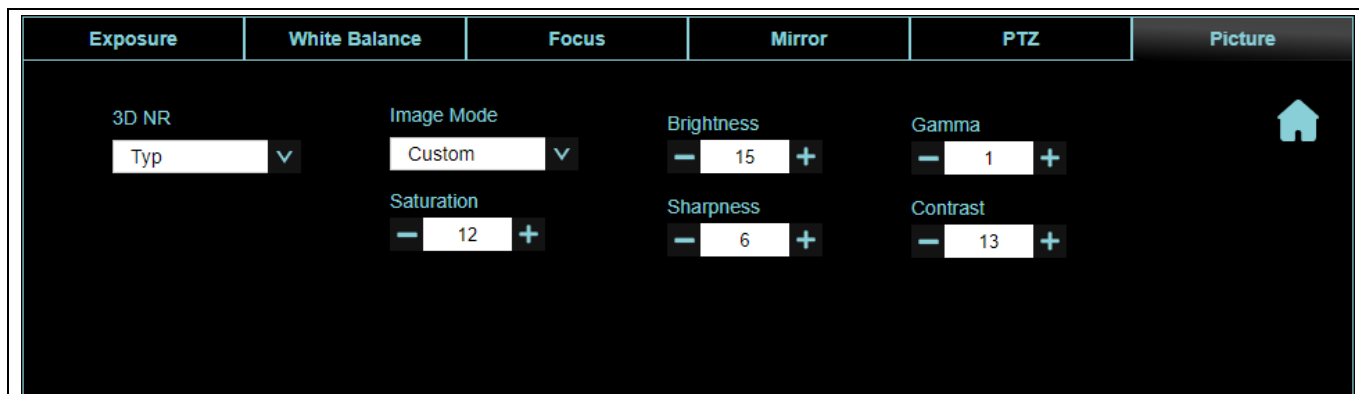


メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
1. Exposure	Mode	Full Auto/ Shutter Pri/ Iris Pri/ Manual/ White Board	露出モードを切り替えます。 ✓ Full Auto: カメラが全自動で露出を調整します。 ✓ Shutter Pri (シャッター優先): シャッター速度を優先的に設定し、その他の設定（絞りやゲインなど）はカメラが自動で調整します。 ✓ Iris Pri (絞り優先): 絞り（アパーチャ）を優先的に設定し、他の設定を自動で調整します。 ✓ Manual: すべての設定（シャッター速度、絞り、ゲインなど）を手動で調整します。 ✓ White Board: ホワイトボードでの撮影に最適な設定を自動的に調整します。
	WDR	Off/ 1/ 2/ 3	WDR(ワイドダイナミックレンジ)を設定します。明るい部分と暗い部分のディテールを両方とも鮮明に表示できるよう調整します。
	HDR	On / Off	HDR 機能を有効/無効にします。逆光時など明暗差の激しい環境で、黒つぶれや白飛びを抑え、鮮明な映像を撮影できます。 ※59.94fps または 50fps のフレームレート設定時はサポートされません。
	Exposure Comp. Level	-6~4	露出補正レベルを調整します。これにより、画像が明るすぎたり暗すぎたりするのを調整できます。 Full Auto、Shutter Pri、Iris Pri、White Board 時に設定ができます。
	Gain Level	0 ~ 30dB	ゲインレベルを調整します。ゲインはカメラが光量の不足を補うために増幅する信号の強さです。 Manual モード時に設定ができます。
	Iris Level	F1.8 ~ F11/ Close	レンズの絞りを調整します。これにより、画像の被写界深度や光量が変化します。 Iris Pri、Manual モード時に設定ができます。
	Shutter Speed	1/10000 ~ 1/25	シャッター速度を調整し、画像の明るさや動きのブレを制御します。 Shutter Pri、Manual モード時に設定ができます。
	Anti-Flicker	50Hz/60Hz/Off	フリッカー防止機能を切り替えます。蛍光灯などによる画面のちらつきを防ぐため、50Hz または 60Hz に設定できます。 Full Auto、Iris Pri、White Board 時に設定ができます。

Exposure		White Balance		Focus		Mirror		PTZ		Picture	
Mode Indoor ▼ Manual Red − 64 + Manual Blue − 64 + One Push 											
メインメニュー		サブメニュー		選択範囲		機能概要					
2. White Balance		Mode		Auto/ Indoor/ Outdoor/ One Push WB/ ATW/ Manual/ Sodium Lamp		様々な光源に合わせて、映像が自然な白になるように色温度を調整します。 ✓ Auto: カメラが周囲の光を判断し、最適なホワイトバランスを自動で設定します。(4000K ~ 7000K) ✓ Indoor: 屋内の照明に合わせた設定です。(3200K) ✓ Outdoor: 屋外の太陽光に合わせた設定です。(5800K) ✓ One Push WB: 白い紙などを基準に、手動でホワイトバランスを取得するモードです。(1700K ~ 10000K) ✓ ATW (Auto Tracing White Balance): 変化する光源に対し、自動で追従してホワイトバランスを調整し続けるモードです。(1700K ~ 10000K) ✓ Manual: 赤 (R) と青 (B) のゲインを手動で細かく調整するモードです。 ✓ Sodium Lamp: ナトリウムランプ (道路やトンネルの照明など) に合わせた設定です。(2800K)					
		One Push Trigger		-		One Push WB モード時に、白い紙などを写して Enter キーを押すことで、その白を基準にホワイトバランスを調整します。					
		Manual Red		0~C~128		マニュアルモード時に赤色のレベルを調整します。					
		Manual Blue		0~C~128		マニュアルモード時に青色のレベルを調整します。					



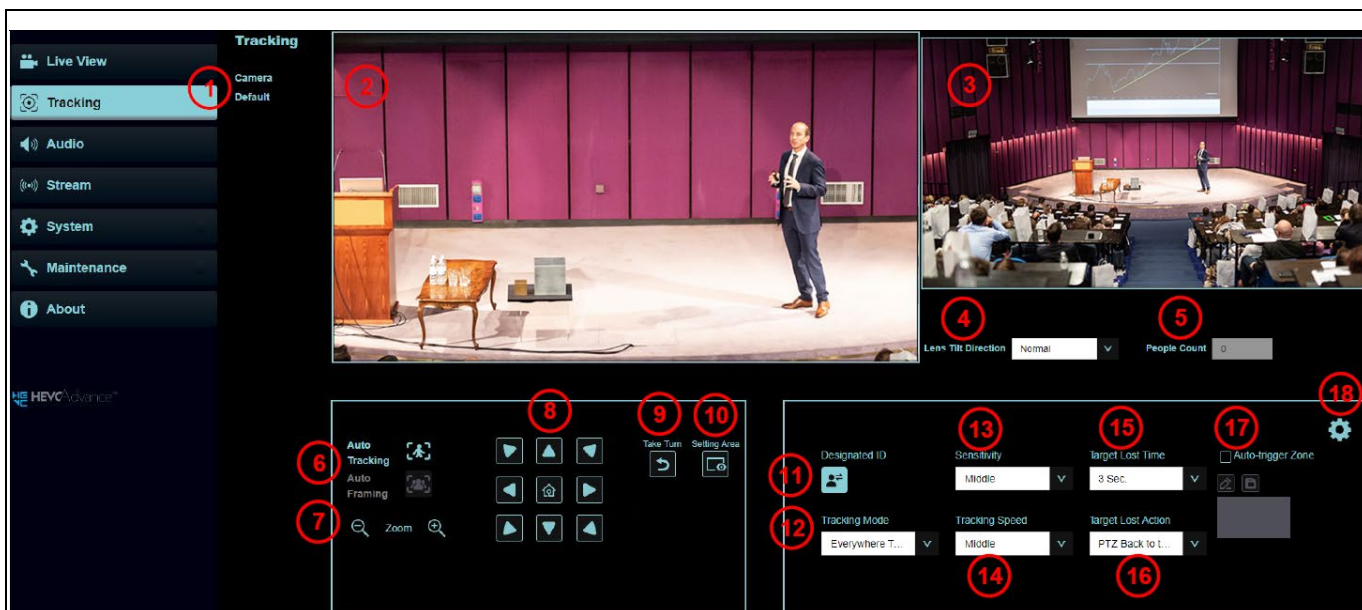
メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
3. Focus	AF Sensitivity	Low/ Middle/ High	オートフォーカスの反応速度を設定します。
	AF Frame	Center Area/ All Area	オートフォーカスがピントを合わせる測距エリアを設定します。 ✓ Center Area: 画面中央を基準にピントを合わせます。 ✓ All Area: 画面全体を基準にピントを合わせます。
	Zoom Tracking	On/ Off	ズーム操作中のフォーカスモードを設定します。有効にすると、ズーム操作中は一時的にフォーカスをマニュアルで固定し、操作完了後にオートフォーカスへ復帰して素早くピントを合わせ直します。 5.2.2 ライブビュー画面 の AF/MF で MF（マニュアルフォーカス）選択時に設定ができます。
	PTZ Assist	On/ Off	マニュアルフォーカス時に、PTZ 操作を行うと一時的にオートフォーカスが作動する補助機能です。 5.2.2 ライブビュー画面 の AF/MF で MF（マニュアルフォーカス）選択時に設定ができます。



メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
6. Picture	3D NR	Off/ Low/ Typ/ Max	3D ノイズリダクションを設定します。3D ノイズリダクションでは、連続するフレームを比較し、変化の少ない部分を基準にしてノイズを除去します。
	Image Mode	Default/ Custom	画質設定を選択します。 ✓ Default: デフォルト設定で画像を出力します。 ✓ Custom: Brightness/ Hue/ Saturation/ Gamma/ Sharpness の調整が可能になります。
	Brightness	0 ~ 14	画面の明るさを調整します。 Image Mode が Custom の時、設定ができます。
	Hue	0 ~ 14	色合い（赤・青のバランス）を調整します。 Image Mode が Custom の時、設定ができます。
	Saturation	0 ~ 14	彩度を調整します。 Image Mode が Custom の時、設定ができます。
	Gamma	0 ~ 4	シャドウやハイライトのバランスを調整します。 Image Mode が Custom の時、設定ができます。
	Sharpness	0 ~ 14	シャープネスを調整します。
7. Home	-	-	ライブビュー画面のページに戻ります。

5.2.4 トラッキング画面

サイドメニューから Tracking を選択すると、トラッキング画面へ移行します。この画面では、メインカメラとパノラマカメラのプレビュー画面を確認でき、AI オートトラッキングの設定を行うことができます。

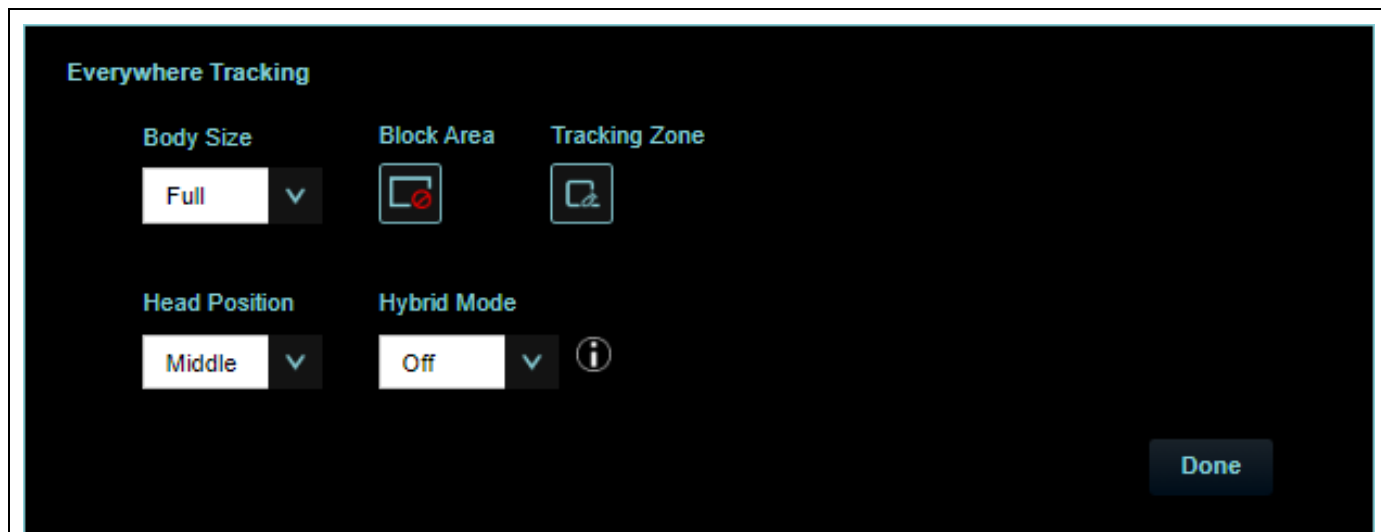


No	項目	機能概要
1	Camera ID/location	設定されているカメラの ID とロケーション名を表示します。詳細は 5.2.9 システム画面 を参照してください。
2	Main preview window	メインカメラのプレビューを表示します。
3	Panoramic preview window	パノラマレンズのプレビューを表示します。
4	Lens Tilt Direction	パノラマレンズの物理的な傾きの位置を設定します。カメラの実際の設置状態と設定を一致させてください。詳細は「 3.4 パノラマレンズのチルト調整 」を参照してください。
5	People Count	画面内の人物を自動で検出し、人数を表示します。
6	Tracking	オートトラッキング (Auto Tracking) またはオートフレーミング (Auto Framing) の有効/無効を切り替えます。Tracking Mode で指定したモードにより、有効化できる項目が変わります。
7	Zoom	ズームイン、ズームアウトを行います。
8	Pan/Tilt	レンズを任意の方向へ移動させます。 ✓ 方向ボタン: レンズを上下左右に動かします。 ✓ ホームボタン: ホームポジションへ移動します。 ※トラッキング有効時、PTZ 操作はできません。
9	Take Turn	追尾対象の人物を切り替えます。 ※センターステージモードでは使用できません。
10	Setting Area	設定された追尾エリアやブロックエリアをパノラマプレビュー画面に表示します。 ※センターステージモードでは使用できません。
11	Designated ID	トラッキング対象を手動で切り替える機能のオン/オフを切り替えます。対象をマウスでクリックすることで、トラッキング対象を変更できます。 ※センターステージモードでは使用できません。
	Center Stage	Center Stage 機能の有効/無効を切り替えます。 ※センターステージモード時に設定ができます。

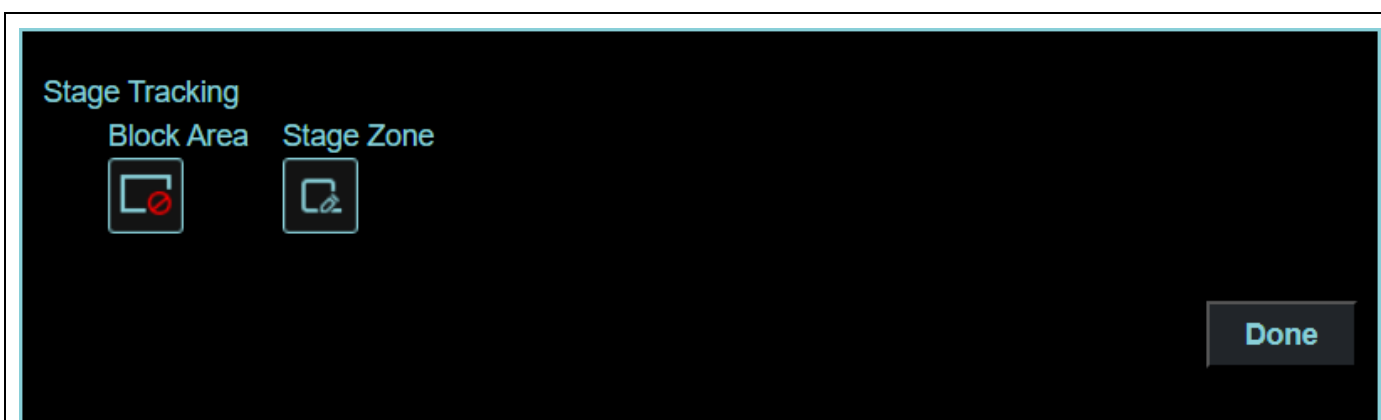
12	Tracking Mode	トラッキングモードを選択します。 ✓ Everywhere Tracking: 特定の人物の左右・前後の動きを連続的に追従します。 ✓ Stage Tracking: 定義したエリア内で特定の人物を左右に追従します。 ✓ Partition Tracking: 人物がパーティションエリアに入ると、パーティションに設定された固定画角に切り替わり、エリア外に出ると自動追尾を再開します。 ✓ Center Stage: プリセットを呼び出した後、特定の人物をフレームの中央に配置するよう自動調整します。 ✓ Auto Framing: すべての人物を画角に収めるよう自動調整します。 ✓ Partition Framing: プレゼンターがパーティションエリアに入るとプリセット位置に移動し、エリア外に出るとオートフレーミングを行います。
13	Sensitivity	トラッキングの感度を調整します。
14	Tracking Speed	トラッキングの追従速度を調整します。
15	Target Lost Time	トラッキング対象を見失った後、次の動作を行うまでの遅延時間を設定します。
16	Target Lost Action	トラッキング対象を見失った際のカメラの動作を設定します。
17	Auto-trigger zone	設定したエリアに人物が3秒間入ると、自動でトラッキングまたはフレーミングを開始する機能を設定します。 ※トラッキング機能を有効にすると、この機能は無効になります。
	Head Position	Center Stage モードで人物をフレーミングする際の、画面内での頭の位置を3段階 (Low/ Middle/ High) で調整します。構図のヘッドルーム (頭上のスペース) を調整する際に使用します。 ※Center Stage モード選択時に設定可能です。
18	ギアアイコン	各トラッキングモードの設定画へ移行します。 詳細は 5.2.5 トラッキングモード設定画面 を参照してください。

5.2.5 トラッキングモード設定画面

トラッキング画面でギアアイコンをクリックすると、トラッキングモード設定画面へ移行します。選択したトラッキングモードにより、設定画面の内容が異なります。



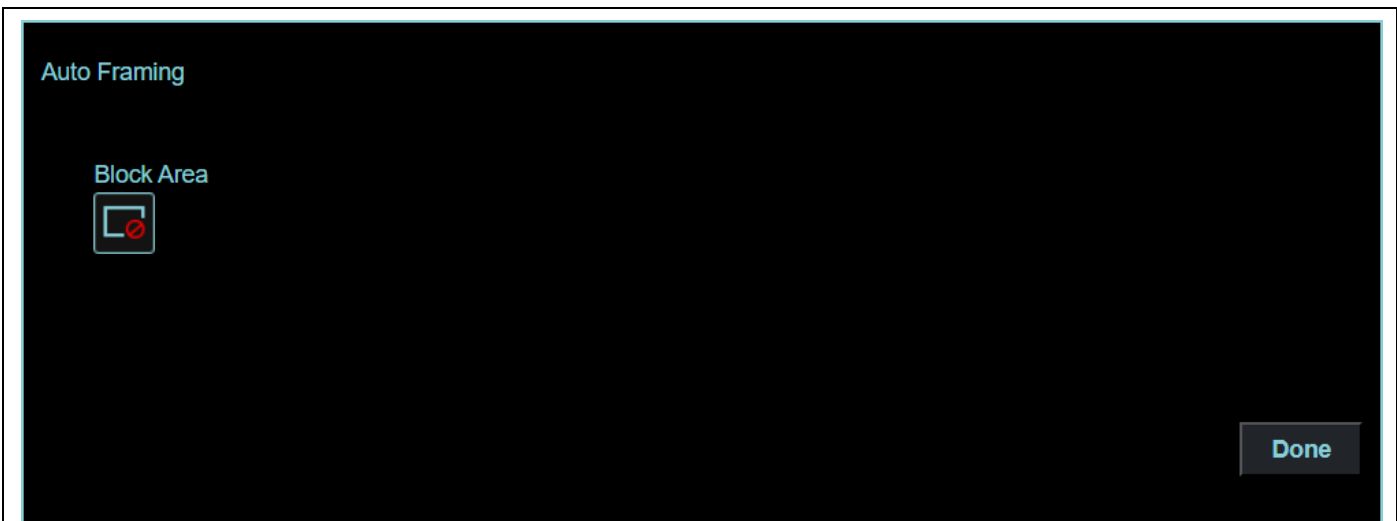
機能名	項目	機能概要
Everywhere Tracking	Body Size	トラッキング対象者を撮影する際の画角を設定します。 ✓ Full: 全身をフレームに収めます。 ✓ Body: 上半身をフレームに収めます。
	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます。
	Block Area	パノラマプレビュー画面上で、トラッキングを行わない「ブロックエリア（マスク領域）」を設定します。このエリア内に人物が入っても追尾しません。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。
	Tracking Zone	パノラマプレビュー画面上で、トラッキングを行う「追尾エリア」を指定します。このエリア内にいる人物のみを追尾対象とします。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。



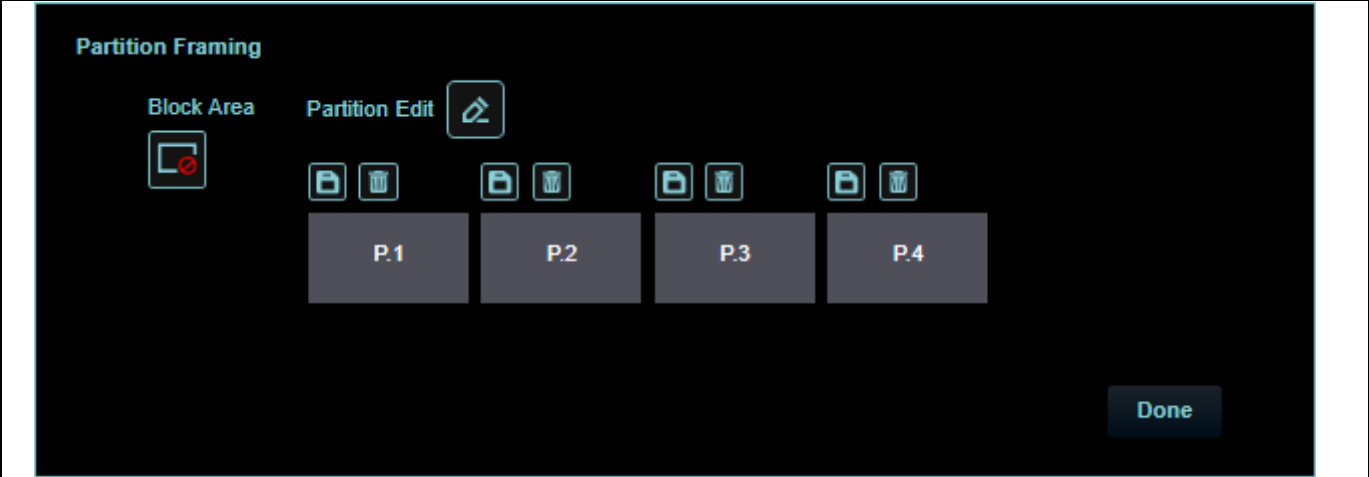
機能名	項目	機能概要
Stage Tracking	Block Area	パノラマプレビュー画面上で、トラッキングを行わない「ブロックエリア（マスク領域）」を設定します。このエリア内に人物が入っても追尾しません。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。
	Tracking Zone	パノラマプレビュー画面上で、トラッキングを行う「追尾エリア」を指定します。このエリア内にいる人物のみを追尾対象とします。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。



機能名	項目	機能概要
Partition Tracking	Body Tracking	パーティションエリア外での追尾時、追尾対象者を撮影する際の画角を設定します。 ✓ Full: 全身をフレームに収めます。 ✓ Upper: 上半身をフレームに収めます。
	Head Position	パーティションエリア外での追尾時、追尾対象となる人物の頭部の位置を調整できます。
	Block Area	パノラマプレビュー画面上で、トラッキングを行わない「ブロックエリア（マスク領域）」を設定します。このエリア内に人物が入っても追尾しません。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。
	Partition Edit	人物が入ると固定画角に切り替わるパーティションエリアの位置と、その画角を編集・保存します。設定したエリアに人物が入るとカメラはその固定画角に切り替わり、エリア外に出ると人物の追尾が再開されます。



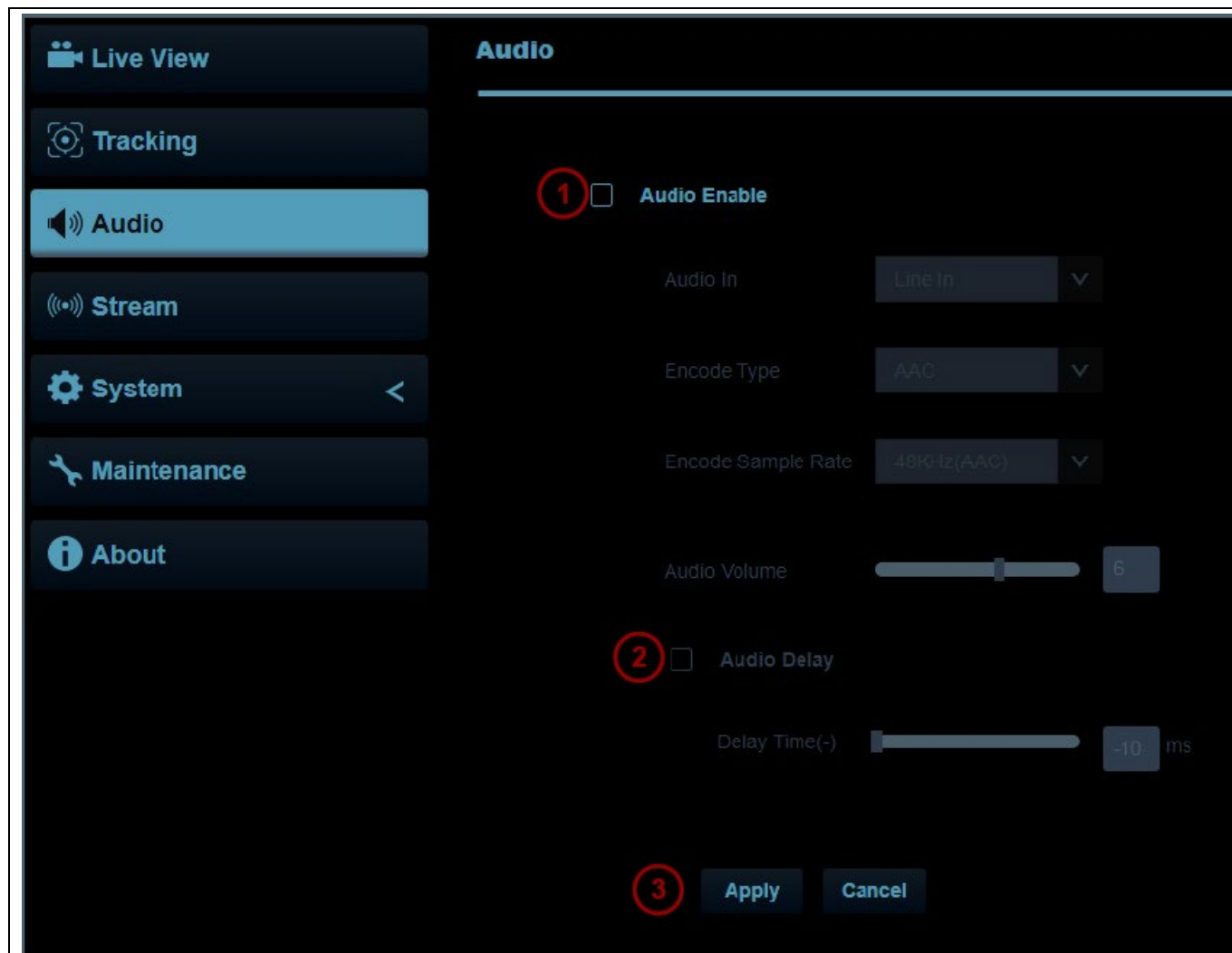
機能名	項目	機能概要
Auto Framing	Block Area	パノラマプレビュー画面上で、フレーミングを行わない「ブロックエリア（マスク領域）」を設定します。このエリア内に人物が入っても追尾しません。マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。



機能名	項目	機能概要
Partition Framing	Block Area	パノラマレビュー画面上で、フレーミングを行わない「ブロックエリア（マスク領域）」を設定します。このエリア内に人物が入っても追尾しません。 マウスを左ドラッグしてエリアを作成し、作成したエリアを選択した状態で「Del」キーを押すと削除できます。
	Partition Edit	人物が入ると固定画角に切り替わるパーティションエリアの位置と、その画角を編集・保存します。設定したエリアに人物が入るとカメラはその固定画角に切り替わり、エリア外に出ると視野内の全員を収めるオートフレーミングが再開されます。

5.2.6 オーディオ画面

サイドメニューから Audio を選択すると、オーディオ画面へ移行します。



No	項目	機能概要
1	Audio Enable	オーディオ機能のオン/オフを切り替えます ✓ Audio In: ライン入力に固定されており、変更できません。 ✓ Encode type: AAC に固定されており、変更できません。 ✓ Encode sample rate: 48KHz(AAC)に固定されており、変更できません。 ✓ Volume: オーディオの音量を調整します。
2	Audio Delay	チェックボックスをオンにして、オーディオ遅延時間を設定します(10～500ms)。
3	Apply/Cancel	オーディオ設定を適用またはキャンセルします。

5.2.7 ストリーム画面

サイドメニューから Stream を選択すると、ストリーム画面へ移行します。

The screenshot shows the 'Stream' configuration page. On the left is a sidebar menu with options: Live View, Tracking, Audio, Stream (highlighted), System, Maintenance, and About. The main area is titled 'Stream' and contains tabs for Stream 1, Stream 2, NDI, and Panoramic. Below the tabs are configuration sections for Codec, Resolution, Frame Rate, Rate Control, Bit Rate, and GOP. There are also checkboxes for RTSP, RTMP/RTMPS, and SRT, each with its own set of configuration fields like URL, Account, Password, and Stream Key. Numbered callouts are placed as follows: 1 points to the 'Stream' menu item; 2 points to the 'Codec' dropdown; 3 points to the 'RTSP' checkbox; 4 points to the 'RTMP/RTMPS' checkbox; 5 points to the 'SRT' checkbox; and 6 points to the 'Stream' tab header.

No	項目	機能概要
1	Stream 1/ Stream 2/ NDI/ Panoramic	設定するストリーミング出力を選択できます。NDI は VC-TR61N のオプションです。
2	Streaming setting (Stream1/ Stream2/ Panoramic)	以下のパラメーターを設定します。 ✓ Codec: エンコードコーデックを選択します。 ✓ Resolution: 解像度を選択します。 ✓ Bit Rate: ビットレートを 2,000～20,000 の間で設定します。 ✓ Rate Control: 固定ビットレート(CBR)または可変ビットレート(VBR)から選択します。 ✓ Frame Rate: Stream1 は 60(4K の場合は選択不可)または 30 から選択でき、Stream2 は 30 固定されています。 ✓ GOP: GOP(Group Of Pictures)を選択します。
3	RTSP (Stream1/ Stream2/ Panoramic)	RTSP (Real-Time Streaming Protocol) を使用して、ネットワーク経由でカメラの映像を配信するための設定を行います。 ✓ RTSP: RTSP を有効にするには選択します。 ✓ Enable Multicast: RTSP ストリームをマルチキャストで送信するか設定します。同時にカメラ映像を 4 台以上に配信する場合、マルチキャストの有効化を推奨します。 ✓ Authentication: パスワード認証の有効または無効を選択します。 ➢ アカウント名は 5～16 文字で、ローマ字または数字が使用できます。 ➢ パスワードは 8～64 文字で、ローマ字と数字の両方を 1 文字以上含める必要があります。

No	項目	機能概要
4	RTMP/ RTMPS (Stream1/ Stream2)	RTMP(Real-Time Messaging Protocol)を使用して、カメラの映像をライブ配信プラットフォームに送信するための設定を行います。 ✓ RTMP/RTMPS: RTMP/RTMPS を有効にするにはチェックを入れます ✓ Publish to Server: 配信先サーバーに映像を送信する機能を有効化します。 ➢ Server URL: 配信先のサービスが提供する RTMP サーバーの URL を入力します。 ➢ Stream Key: 配信先で発行されたストリームキーを入力します。 ✓ Authentication: パスワード認証の有効または無効を選択します。 ➢ アカウント名は 5～16 文字で、ローマ字または数字が使用できます。 ➢ パスワードは 8～64 文字で、ローマ字と数字の両方を 1 文字以上含める必要があります。
5	SRT (Stream1/ Stream2)	SRT (Secure Reliable Transport) は、低遅延かつ高信頼性のストリーミングを実現するためのプロトコルです。SRT を有効にすると、起動時に自動的に接続されます。 ✓ SRT: SRT ストリーミングを有効にするにはチェックを入れます ✓ Connection Mode: Caller (接続元) または Listener (待機) を選択します。 ✓ URL: ストリーミング先の URL を入力します。 ✓ Stream ID: ストリーム ID を入力します。 ✓ Encryption: 暗号化方式を None (なし)、AES-128、AES-256 から選択します。 ✓ Passphrase: 暗号化を選択した場合、パスフレーズを入力します。 ✓ Port: ポート番号は 1024 以上、9999 以下の範囲で設定します。以下のポート番号はカメラが使用するため、設定しないでください：8554, 8555, 8557, 8080, 9090, 1935 ✓ Latency: 遅延時間を 20～8000 マイクロ秒の範囲で設定できます。

5.2.8 NDI ストリーム画面(VC-TR61N のみ)

ストリーム画面で NDI を選択すると NDI ストリーム画面に移行します。

No	項目	機能概要
1	Camera ID/ Location	[System] > [Device]で設定されたカメラの ID と設置場所（ロケーション名）を表示します。
2	Group Name	カメラが所属する NDI グループ名を設定します。NDI Access Manager と連携して、特定のグループにのみ映像を公開するなどのアクセス制御が可能です。
3	NDI HX	使用するバージョンを H.264 HX2 または NDI HX3 から選択ができます。
4	Multicast	NDI ストリームをマルチキャストで送信するか設定します。4 台以上の受信機が同時にこの映像を受信する場合、ネットワーク負荷軽減のため有効化を推奨します。
5	Discovery Server	NDI Discovery Server を使用して NDI ソースの検出を行う場合に有効にし、サーバーの IP アドレスを入力します。
6	Apply/ Cancel	設定内容の変更後、このボタンをクリックして設定を保存・適用します。

5.2.9 システム画面

システム画面は、Device, Output, Network, Date & Time, User, Control から構成されます。各項目について解説します。

✓ System - Device

No	項目	機能概要
1	Camera ID	カメラの名前を変更できます。カメラ名は1～32文字で設定可能です。英大文字・小文字および数字を使用してください。 ※特殊記号（「/」や空白など）は使用できません。 ※この項目を変更すると、Onvifのデバイス名も同時に変更されます。
2	Location	カメラのLocation名を変更できます（例：Room 1）。Location名は1～32文字で設定可能です。英大文字・小文字および数字を使用してください。 ※特殊記号（「/」や空白など）は使用できません。 ※この項目を変更すると、OnvifのLocation名も同時に変更されます。
3	Apply/ Cancel	設定内容の変更後、このボタンをクリックして設定を保存・適用します。

The screenshot displays the 'Output' configuration menu of a Lumens camera system. On the left is a sidebar with navigation options: Live View, Tracking, Audio, Stream, System (selected), Device, Output, Network, Date & Time, User, Control, Maintenance, and About. The main area shows the 'Output' settings with the following items:

- ① Resolution: 2160P/29.97
- ② HDMI Output Source: PTZ
- ③ HDMI Format: YUV422
- ④ Privacy Mode(UVC): Off
- ⑤ Panoramic 4K Mode: Off (with an information icon)
- ⑥ PIP: OFF
 - Mode Select: PTZ
 - Sub Screen: (empty)
 - Size: Normal
 - Position: Bottom Right
- ⑦ Apply and Cancel buttons

No	項目	機能概要
1	Resolution	カメラの映像出力解像度を設定します。 ※1080i は HDMI 出力のみ対応です。SDI は 1080p で出力されます。解像度を変更するとカメラは再起動します。
2	HDMI Output Source	HDMI から出力する映像ソースを、メイン (PTZ) カメラまたはパノラマカメラから選択します。
3	HDMI Format	HDMI 出力のカラーフォーマットを YUV422/ RGB から選択します。
4	Privacy Mode(UVC)	有効にすると、リモコンやソフトウェアで電源をスタンバイにした際に、レンズが自動的に右下を向き、プライバシーを確保します
5	Panoramic 4K Mode	パノラマカメラ映像の 4K 出力を有効にします。 ※このモードは、解像度が 4K 60/30fps に設定されている場合のみ利用可能です。有効にすると、UVC (USB ビデオ) 出力は 720p に制限されます。設定を変更するとカメラは再起動します。
6	PIP	PIP 機能の有効/無効を設定します。 ✓ Mode Select: メイン画面に表示する映像を PTZ カメラまたはパノラマカメラから選択します。 ✓ Size: サブスクリーンのサイズを設定します。 ✓ Position: サブスクリーンの表示位置を設定します。
7	Apply/Cancel	設定内容を適用またはキャンセルします。

Live View

Tracking

Audio

Stream

System

Output

Network

Date & Time

User

Control

Maintenance

About

Network

1 DHCP

☒

IPv4 Address

192.168.4.115

IPv4 Netmask

255.255.255.0

Gateway

192.168.4.254

DNS

192.168.1.211

MAC Address:

dc:e2:ac:03:e0:50

2 HTTP Port

80

3 HTTPS Port

81

4

Apply

Cancel

No	項目	機能概要
1	DHCP	DHCP（IP アドレス自動取得）の有効/無効を切り替えます。無効にすると、IP アドレスなどを手動で設定できます。
2	HTTP ポート	HTTP 通信で使用するポート番号を設定します。デフォルト値は 80 です。
3	HTTPS ポート	HTTPS（暗号化）通信で使用するポート番号を設定します。デフォルト値は 81 です。
4	Apply/Cancel	設定内容を適用またはキャンセルします。

Live View

Tracking

Audio

Stream

System

Output

Network

Date & Time

User

Date & Time

① Current Date & Time 2024-07-26 10:53:34

② PC Clock 2024-07-26 10:53:36

③ Date & Time Format yyyy-mm-dd hh:mm:ss

④ Time Setting Synchronize with PC

⑤ Apply Cancel

No	項目	機能概要
1	Current Date & Time	カメラに現在設定されている日付と時刻を表示します。
2	PC Clock	接続している PC の時刻を表示します。
3	Date & Time Format	日付と時刻の表示形式を設定します。
4	Time Setting	日付と時刻の設定方法を選択します。 ✓ Manual: 日付と時刻を手動で入力します。 ✓ Synchronize with PC: このボタンを押すと、現在操作している PC の時刻と同期します。 ✓ Synchronize with NTP: NTP サーバーと同期して、自動で時刻を合わせます。
5	Apply/Cancel	設定内容を適用またはキャンセルします。

Live View

Tracking

Audio

Stream

System

Device

Output

Network

Date & Time

User

Control

User

EDIT

DEL

User Name

Authorization Mode

☐

admin

Administrator

+

機能概要

ユーザーアカウントの追加・変更・削除を行います。ユーザー名およびパスワード は4～32文字で設定できます。英大文字・小文字および数字を使用できます。特殊記号およびアンダーバーは使用できません。
Authorization modeでは、管理権限を設定できます。

ユーザータイプと権限

ユーザータイプ	映像の閲覧	設定の変更	アカウント管理
管理者 (Admin)	○	○	○
オペレーター (Operator)	○	○	×
ビューアー (Viewer)	○	×	×

Live View

 Tracking

 Audio

 Stream

 System ▼

 Output

 Network

 Date & Time

 User

 Control

Control

1

Protocol

VISCA

▼

2

Baud Rate

9600

▼

3

VISCA Address

1

4

Tracking Led Status

Off

▼

5

Tally Lamp

Disable

▼

6

Tally CMMD Mode

Link

▼

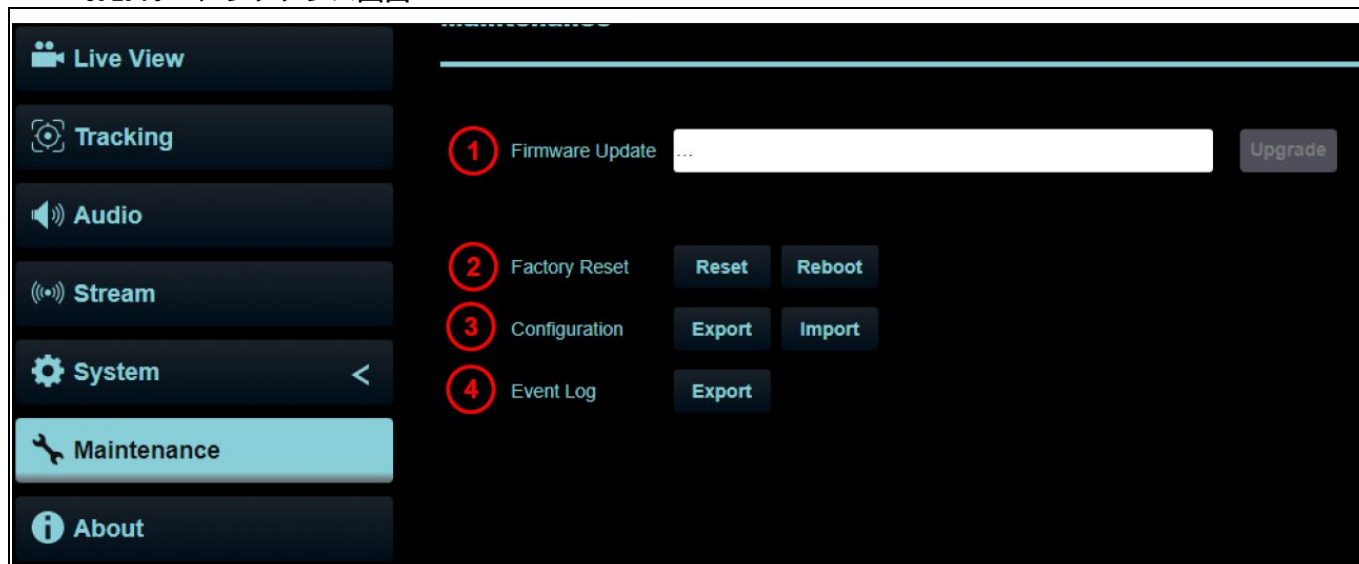
7

Apply

Cancel

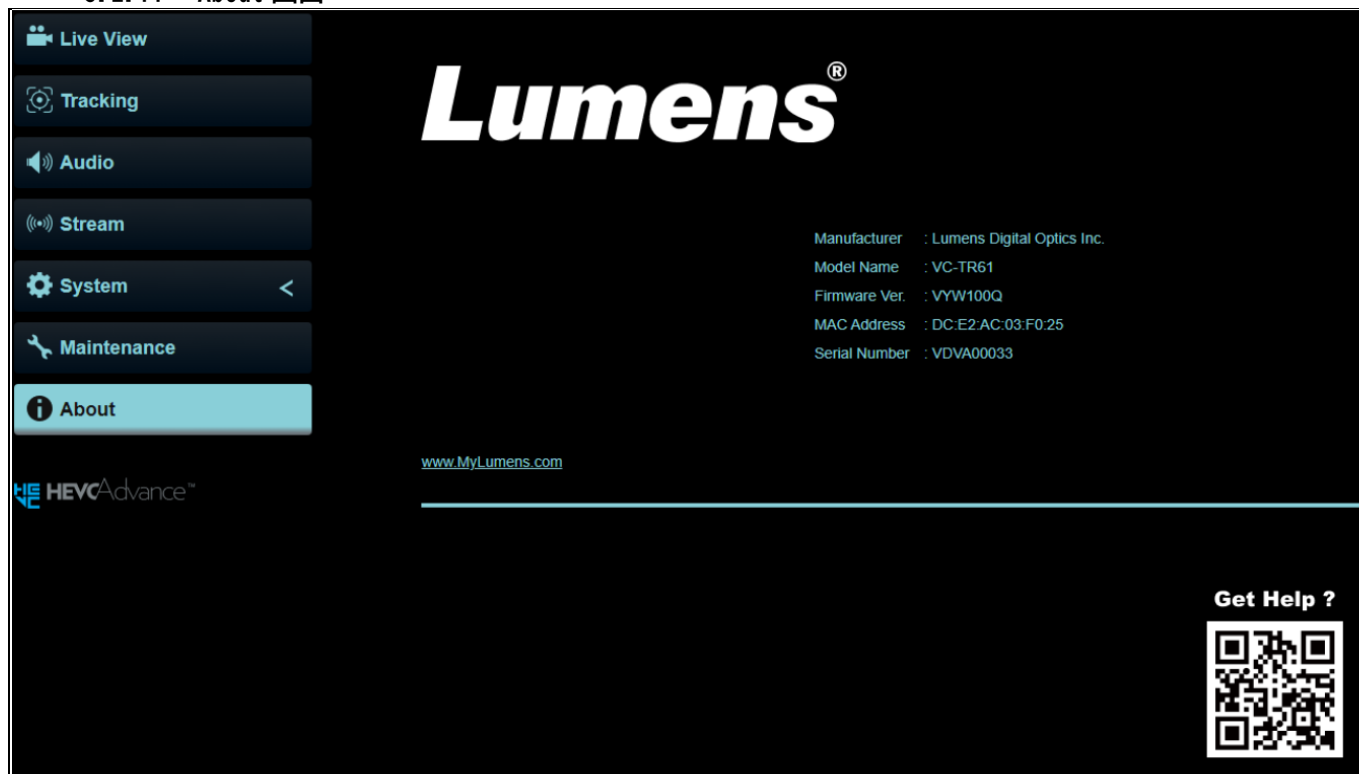
No	項目	機能概要
1	Protocol	VISCA プロトコルに固定されており、変更できません。
2	Baud Rate	ボーレートを 9600、または 38400 から選択できます。
3	VISCA address	カメラの ID アドレスを 1～7 の範囲で設定できます。0 を選択すると自動制御モードになります。
4	Tracking LED status	トラッキングが開始された際に、前面パネルの LED の点滅を有効または無効に設定できます。
5	Tally Lamp	メインレンズ上部のタリーランプのオン/オフを切り替えます。
6	Tally CMMD Mode	タリーランプがオフの時のコマンド処理方法を指定します。 ✓ Normal: タリーランプのオン/オフと点灯色は個別に制御します。タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信しても点灯しないため、先にタリーランプをオンにするコマンドを送信する必要があります。 ✓ Link: タリーランプのオン/オフと点灯色は連動して制御します。タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信すると、自動的にタリーランプがオンになり、指定された色で点灯します。
7	Apply/Cancel	設定内容を適用またはキャンセルします。

5.2.10 メンテナンス画面



No	項目	機能概要
1	Firmware Upgrade	[...]ボタンをクリックしてファームウェアファイルを選択し、[Upgrade]ボタンを押して更新を開始します。アップデートには2～3分かかります。 アップデート中は、故障を避けるため、絶対に電源を切ったり操作したりしないでください。 ファームウェアファイルは、Lumens Web サイトの ダウンロードページ よりダウンロードしてください
2	Factory Reset	すべての設定を工場出荷時のデフォルト状態に戻します。設定をリセットした後、カメラは再起動します。
3	Configuration	現在のカメラ設定をプロファイルとして PC に保存したり、保存したプロファイルを読み込んだりすることができます。
4	Event Log	イベントログをエクスポートします。

5.2.11 About 画面



機能概要

カメラのファームウェアバージョン、シリアル番号、その他の関連情報を表示します

Chapter.6 トラブルシューティング

この章では、VC-TR61 の使用中に発生する可能性のある問題とその解決策を説明します。関連する章を参照し、推奨される解決策に従ってください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

No.	問題	解決策
1	カメラの電源が入らない	1. 電源コードが正しく接続されているか確認してください。 2. PoE 接続を使用している場合、PoE+ (IEEE802.3 at) 対応の電源供給ハブを使用していることを確認してください。
2	カメラから映像が出力されない	1. 電源供給または PoE 供給が正常か確認してください。 2. カメラの出力解像度が、接続しているディスプレイに対応しているか確認してください。 3. ケーブルを交換して、故障していないか確認してください。
3	カメラ映像に大きな遅延が発生する	フレームレートを 25/30fps ではなく、60/50fps に設定してご使用ください。
4	RS-232 で制御ができない	1. 3.6.2 RS232 を参照し、接続が正しいか確認してください。 2. カメラ本体と制御機器のボーレート (Baud rate) の設定が一致しているか確認してください。
5	ONVIF ソフトウェアが本機を検出できない	5.2.9 システム画面 を参照し、Camera ID と Location が英数字のみであることを確認してください。特殊文字やスペースを使用すると、ONVIF ソフトウェアが本機を見つけることができません。
6	再起動後、カメラが設定を保存しない (PTZ、AWB など)	Initial Position が Last MEM に設定されているか確認してください。
7	解像度を 1080i に設定すると、SDI から映像が出力されない	VC-TR61 は SDI 経由での 1080i 出力に対応していません。解像度で 1080i を選択した場合でも、SDI ポートは 1080p で映像を出力し続けます。1080i での出力が必要な場合は、HDMI 出力を HDMI-SDI 変換器などを使用して変換してください。
8	アカウントのパスワードを忘れてカメラにログインできない	以下の手順で、ネットワーク設定と管理者パスワードを工場出荷時の設定にリセットできます。 1. リモコンを使用して「+」「8」「8」「6」の順にボタンを押し、最後に「Enter」を押します。 2. ボタンの入力が速すぎないように注意してください。 3. リセットが正常に実行されると、カメラが再起動します。

Chapter.7 安全上のご注意

VC-TR61 を使用する際の安全に関する指示

操作

- ✓ 水や熱源を避け、推奨される使用環境で製品を使用してください。
- ✓ 製品を傾けたり、不安定な台車、スタンド、テーブルの上に置かないでください。
- ✓ 使用前に電源プラグのほこりを掃除してください。火花や火災を防ぐため、マルチプラグは使用しないでください。
- ✓ 製品ケースのスロットや開口部を塞がないでください。これらは通気を確保し、製品の過熱を防ぎます。
- ✓ カバーを開けたり外したりしないでください。危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。すべての修理は、専門技術を持つサービス担当者に依頼してください。
- ✓ 次のような場合は、製品をコンセントから抜き、サービス担当者に修理を依頼してください：
USB ポートが破損または摩耗した場合
製品に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合

設置

- ✓ 使用する金具が安全認証を取得しており、かつ専門技術を持つ技術者によって確実に取り付けられていることを確認してください。
- ✓ リードやプラグがほつれたり損傷したりする原因となるため、コードを踏む可能性のある場所に製品を置かないでください。
- ✓ 雷雨の時や計画停電時、長期間使用しない場合は、本製品のプラグを抜いてください。
- ✓ 本製品や付属品を振動する機器や発熱体の上に置かないでください。

クリーニング

- ✓ クリーニング前にすべてのケーブルを外し、乾いた布で表面を拭いてください。クリーニングにはアルコールや揮発性の溶剤を使用しないでください。

バッテリー（バッテリー付き製品またはアクセサリの場合）

- ✓ 電池を交換する際は、同じ種類または類似の電池のみを使用してください。
- ✓ バッテリーや製品を廃棄する際は、お住まいの国または地域の廃棄に関する指示に従ってください。

FCC Warning

本装置は、FCC 規則パート 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストにより確認されています。これらの制限は、商用環境で使用される場合に有害な干渉から適切に保護されることを目的としています。

通知

本機は、FCC 規則パート 15 に基づくクラス A デジタル機器の制限に適合しています。本装置は、商用環境で 사용되는場合に、有害な干渉を防ぐために適切に設計されています。

IC Warning

本デジタル機器は、カナダ産業省の ICES-003「デジタル機器」に基づく無線ノイズ放射のクラス A 制限を超えません。このデジタル機器は、カナダ産業省の規定に従い、適切な基準で動作します。

EN55032 CE Warning

本装置は、住宅環境で使用すると電波障害を引き起こす可能性があります。この装置を住宅環境で使用する場合、電波干渉に関して注意が必要です。

Chapter.8 Copyright Information

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.
Lumens は、Lumens Digital Optics Inc. が現在登録中の商標です。

本ファイルのコピー、複製、送信は、本製品購入後のバックアップを目的とする場合を除き、ルーメンズ・デジタル・オプティクス・インコーポレーテッドからライセンスを受けていない場合、禁止されています。

本ファイルは、製品改良のため予告なく変更することがあります。

本書は、本製品の使用方法を十分に説明するために、他の製品名や会社名を引用することがありますが、著作権を侵害するものではありません。

保証の免責事項 Lumens Digital Optics Inc. は、技術的、編集上の誤りや脱落の可能性、および本ファイルの提供、本製品の使用または操作に起因する偶発的または関連する損害について責任を負いません。

AUDIO  **BRAINS**

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎 649-3

TEL : 044-888-6761

<https://audiobrains.com/>

2025/08